

2024 Disclosure

2024年9月期

中国ろうきんディスクロージャー誌

ろうきんは、働く人のための生活応援バンクです。

ろうきんの基本姿勢

目的

働く仲間がつくった
福祉金融機関



労働組合等の働く仲間が
お互いを助け合うために
つくった協同組織の
福祉金融機関です。

運営

営利を目的としない
金融機関



営利を目的とせず、
公平・民主的に
運営されています。

運用

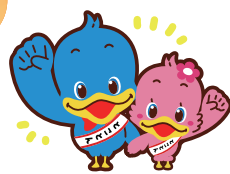
生活者本位の
金融機関



お預かりした資金は、大切な
共有財産として働く仲間の
生活をより豊かにするために
役立てています。

中国ろうきんのめざす姿～ろうきんブランド確立への挑戦～

この取組みは、今後も職員が活き活きと働き続け、会員・構成員の皆さまに「お役立ち」し続けるために
職員自身が“変わる”取組みです。2023年10月から、「中国ろうきんブランド確立に向けた施策」を
全店でスタートしました。



中国ろうきんコア・バリュー

とことん聴きたい、あなたの思い

常務理事 瀬戸 秀昭 書

当金庫と他の金融機関との違い＝当金庫のブランドを表す言葉として
コア・バリューを策定しました。

ブランド確立に向けて、行動指針を策定しその実践行動を朝礼等で共
有しています。また、行動指針に沿って実践された好事例を共有する
ために「感動メモ」を書き、その内容をES・CS委員会にて共有してい
ます。



中国ろうきんの現況（2024年9月末現在）

○中国ろうきんの概要

■ 理 事 長 戸 守 学

■ 本 店 所 在 地 広島市南区稲荷町1番14号

■ 創 立 2003年10月1日（中国4労働金庫統合）

■ 出 資 金 69億円

■ 団 体 会 員 数 3,330会員

■ 間 接 構 成 員 数 599,212人

■ 店 舗 数 39店舗

■ 職 員 数 557人

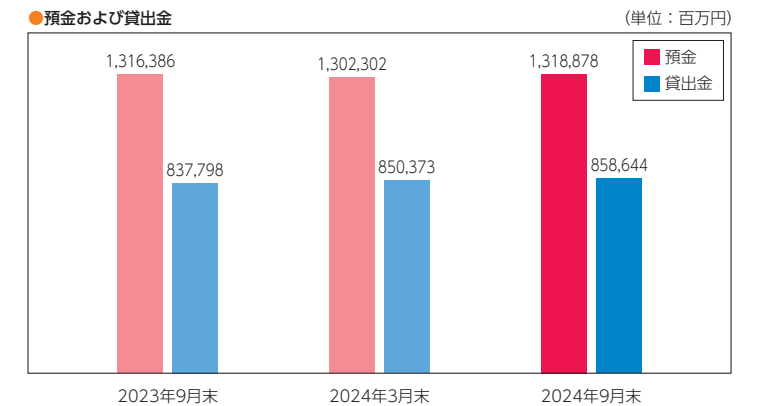
○預金・貸出金の状況

■ 預金は、期首から165億円増加となり、残高は1兆3,188億円
となりました。

内訳は個人預金が57億円の増加、団体預金が108億円の増加
（うち一斉積立は1億円の減少）となりました。

■ 貸出金は、期首から82億円増加し、残高は8,586億円となりま
した。

内訳は、有担保ローン（個人）が57億円の増加、無担保ローン
（個人）が13億円の増加、団体融資やその他のローンが12億
円の増加となりました。

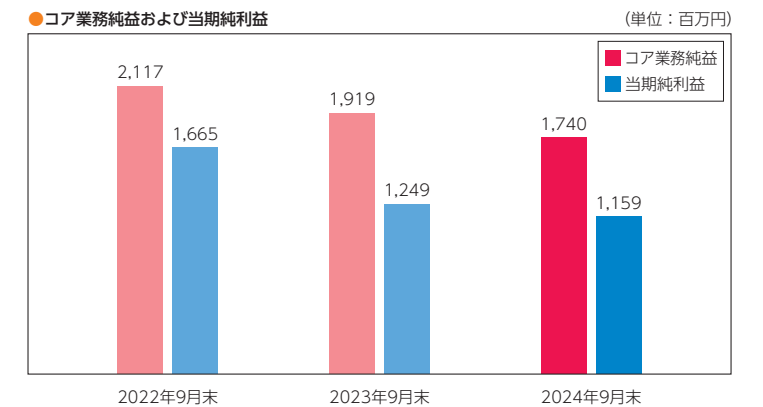


○収支の状況

■ 業務純益は、前年同期比1億円減少の16億円となり、実質業
務純益は16億円となりました。コア業務純益は前年同期比
1億円減少の17億円となり、コア業務純益（投資信託解約損
金を除く。）は17億円となりました。

■ 経常収益は前年同期比1億円増加の93億円となりました。
経常費用は、前年同期比3億円増加の76億円となりました。
その結果経常利益は前年同期比1億円減少の16億円となり
ました。

■ 当期純利益は、前年同期比90百万円減少の11億円となりま
した。



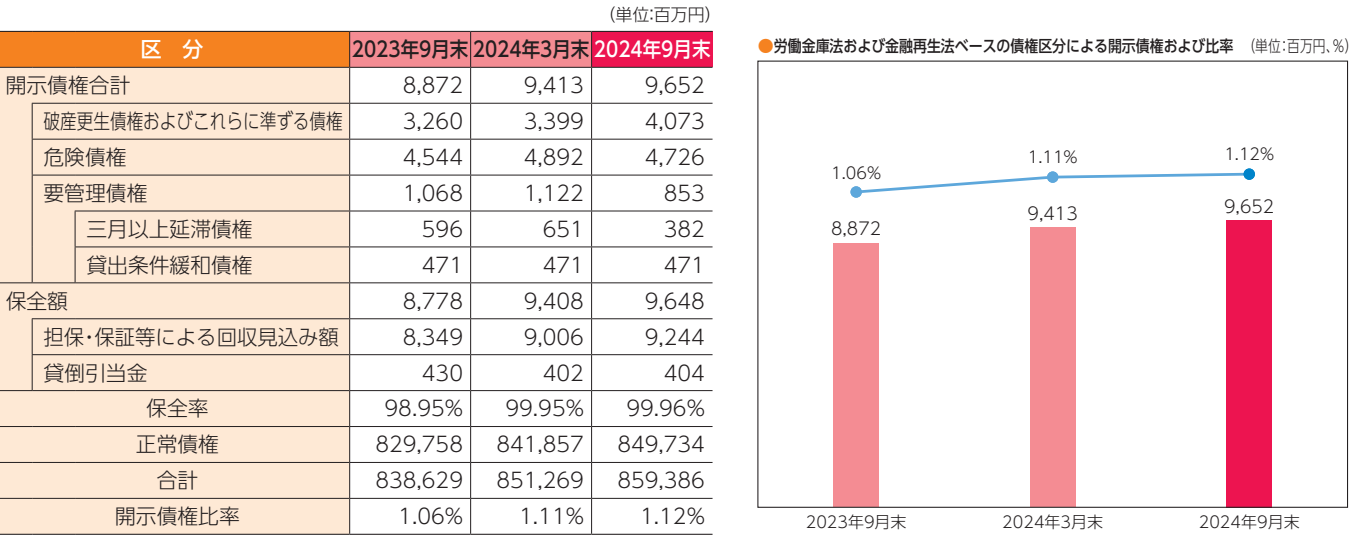
○貸借対照表

(単位:百万円)				(単位:百万円)			
資産の部	2023年 9月末	2024年 3月末	2024年 9月末	負債および 純資産の部	2023年 9月末	2024年 3月末	2024年 9月末
現金	10,157	9,657	11,862	預金積金	1,305,266	1,290,982	1,300,157
預け金	392,038	382,635	373,127	譲渡性預金	11,120	11,320	18,720
金銭の信託	1,028	1,050	31	借入金	0	15,000	15,000
有価証券	120,595	120,876	137,757	其他負債	3,099	4,135	3,424
貸出金	837,798	850,373	858,644	賞与引当金	324	323	337
其他資産	10,697	11,088	10,839	退職給付引当金	3,034	2,854	2,920
有形固定資産	11,026	11,087	10,921	役員退職慰労引当金	82	95	108
無形固定資産	104	110	106	睡眠預金払戻損失引当金	15	181	175
前払年金費用	582	666	773	再評価に係る繰延税金負債	20	20	20
繰延税金資産	853	1,138	1,199	債務保証	6	6	5
債務保証見返	6	6	5	負債の部合計	1,322,971	1,324,918	1,340,870
貸倒引当金	△442	△408	△410	出資金	6,976	6,969	6,966
				利益剰余金	56,610	57,341	58,191
				処分未済持分	△3	—	△1
				会員勘定合計	63,582	64,310	65,155
				其他有価証券評価差額金	△2,069	△911	△1,129
				土地再評価差額金	△37	△37	△37
				評価・換算差額等合計	△2,107	△949	△1,167
				純資産の部合計	61,475	63,361	63,988
合 計	1,384,446	1,388,280	1,404,859	合 計	1,384,446	1,388,280	1,404,859

○損益計算書

科 目	2022年 9月末	2023年 9月末	2024年 9月末
経常収益	9,312	9,112	9,302
資金運用収益	8,032	8,054	8,288
役務取引等収益	359	443	445
其他業務収益	728	585	539
臨時収益	191	28	28
経常費用	7,008	7,291	7,636
資金調達費用	380	386	452
役務取引等費用	1,585	1,653	1,790
其他業務費用	1	132	135
経費	5,030	5,123	5,291
臨時費用	10	△ 5	△30
経常利益	2,303	1,821	1,665
特別利益	—	—	—
特別損失	—	24	37
税引前当期純利益	2,303	1,797	1,628
法人税、住民税および事業税	620	484	449
法人税等調整額	17	62	19
当期純利益	1,665	1,249	1,159

○労働金庫法および金融機能の再生のための緊急措置に関する法律ベースの債権区分による開示債権



「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれに準ずる債権のことです。

「危険債権」とは
債務者が経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態および経営成績が悪化して契約に従った債権の元本の回収と利息の受取りができない可能性が高い債権で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」に該当しない債権のことです。

「要管理債権」とは
上記の「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」と「危険債権」を除いた「三月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額のことです。

「三月以上延滞債権」とは
元本または利息の支払いが約定の支払日の翌日から三月以上遅延している貸

出金で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」並びに「危険債権」に該当しない貸出金です。

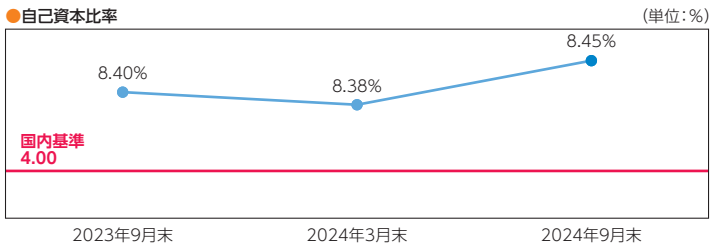
「貸出条件緩和債権」とは
債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
貸し出したお金は回収されることを前提としている点で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」と異なります。

「正常債権」とは
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権のことで、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」以外の債権です。

○自己資本比率

■「自己資本比率」は、8.45%（概算値）となり、国内基準である4%を大きく上回っています。

「自己資本比率」とは
金融機関の自己資本の状況が適当であるかどうかを判断するための基準として、法令により定められた指標です。



(単位:百万円、%)

自己資本の構成に関する主な開示事項		2024年3月末	2024年9月末 (概算値)
コア資本に係る基礎項目の額 (経過措置による算入額)	(イ)	64,001	65,521
コア資本に係る調整項目の額 (経過措置による不算入額)	(ロ)	596	671
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ)	63,769	64,849
リスク・アセット等の額の合計額 (経過措置による算入額)	(ニ)	760,668	766,561
自己資本比率 (国内基準)	(ハ) / (ニ)	8.38	8.45

定量的な開示事項	2024年3月末	2024年9月末
信用リスクに対する所要自己資本の額	29,424	29,660
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	1,002	1,002
単体総所要自己資本額等	30,426	30,662

(注)
当金庫では、9月期決算を法定されておりませんが、内部規定に基づき、3月末本決算に準じた仮決算を行っております。上記2024年9月期の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。2014年3月末から、いわゆるパーゼルⅢを適用した自己資本比率規制告示(平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号、最終改正:平成26年3月28日)に示された基準により計算しています。

○有価証券の時価情報

1. 売買目的有価証券
売買目的有価証券は、該当ありません。
2. 満期保有目的の債券
満期保有目的の債券は、該当ありません。

3. 子会社・子法人等株式および関連法人等株式
子会社・子法人等株式および関連法人等株式は市場価格のない株式等であるため、下記「5. 市場価格のない株式等の主な内容および貸借対照表計上額」に記載しております。

(単位:百万円)

	種類	2023年9月末			2024年3月末			2024年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	97	80	16	108	80	28	102	80	21
	債券	11,521	11,491	29	14,633	14,554	79	16,531	16,457	73
	国債	1	1	0	506	497	8	1,800	1,784	15
	地方債	60	60	0	3,359	3,345	14	2,911	2,901	9
	社債	11,459	11,429	29	10,767	10,711	56	11,820	11,771	48
	その他	13,711	12,976	734	14,088	13,297	791	15,732	14,812	919
小 計		25,329	24,549	780	28,831	27,931	899	32,366	31,351	1,014
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	債券	91,749	94,666	△2,917	90,322	92,515	△2,192	104,109	106,668	△2,559
	国債	15,946	16,830	△884	14,684	15,270	△585	18,893	19,591	△698
	地方債	11,975	12,436	△461	10,828	11,194	△365	15,140	15,607	△466
	社債	63,826	65,399	△1,572	64,808	66,050	△1,241	70,075	71,469	△1,394
	その他	3,453	3,464	△11	1,660	1,665	△5	1,219	1,221	△1
小 計		95,202	98,131	△2,928	91,982	94,180	△2,197	105,328	107,890	△2,561
合 計		120,532	122,680	△2,148	120,813	122,112	△1,298	137,695	139,242	△1,546

(注)
貸借対照表計上額は、2024年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。社債には、政府保証債、公社団団債、金融債、事業債が含まれます。市場価格のない株式等は本表には含めておりません。

5. 市場価格のない株式等の主な内容および貸借対照表計上額 (単位:百万円)

	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末
子会社・子法人等株式	50	50	50
非上場株式	12	12	12
労働金庫連合会出資金	7,700	7,700	7,700
合 計	7,762	7,762	7,762

金額、比率の表示方法

① 金額単位

(1) 各表に表示した金額は単位未満の端数を切り捨てて記載しています(ただし、「労働金庫法および金融機能の再生のための緊急措置に関する法律ベースの債権区分による開示債権」は、単位未満を四捨五入しています)。
(2) 小計、合計等の合算は円単位まで算出し、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
(3) 期中増減額は、円単位まで算出し、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
(4) その他 「－」 該当数字がない場合 「0」 単位未満の数字がある場合 「△」 マイナス値の場合

② 諸 比 率

小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。なお、官庁報告に係る諸比率等は報告数値をそのまま記載しています。

半期決算は法定されていないため、会計監査人監査の対象となっておりません。

■商品・サービスについてのお問い合わせ

お客さま相談窓口
フリーダイヤル

0120-86-3760

中国ろうきん

検索

https://www.chugoku.rokin.or.jp/

2024年11月 発行